

### 【12月25日（日）】

朝からライオンのアレンが大活躍。黄色い帽子を被った2歳くらいの子どもさんにターゲットをあてて、直進、ガラスをかきむしり、尻尾をブンブン振り回していた。子どもさんびっくりして泣きべそをかいていたが、ほかのお客さんは大喜び。30分ほどして戻ってきたときも、まだ遊び回っていた。今日は機嫌がいいのか、悪いのか。

キリンのオス・ヨウタは耳の穴が痒いのか、鉄パイプにさしてある木の枝に右耳を押し付けてこすっていた。今度は左耳。久しぶりにこの姿を見た。

### 【12月23日（金一天皇誕生日）】

ライオンのトウヤは恐れ多くも天皇誕生日の生まれ。今日は誕生日だから肉の特別プレゼントの催しをする。ライオンの解説と〇×クイズつきである。300人くらいの方が集まってくれた。いつもはアレンのいるガラス展示場で鶏肉のプレゼント、近くで動いているところが見えるのでお客さんは大喜びだった。アレンは雨天に使われる展示場に行かされてふて寝である。もっとも夕方鶏肉を食べられるのであるが。午後はサポーターズデイでライオン舎のバックヤード見学。久しぶりに運動場に入ったが、芝生が根付いてフカフカになっていた。

### 【12月22日（木）】

今日は会議日で、年末だということもあって職員はバタバタ動き回っている。おまけに排水管が壊れてトイレが一つ使えない。気温が高くて生暖かい風が吹いている。サルたちは気持ちよさげに居眠りしているのがおおい。ライオンも居眠り。午後遅くに改装中のレクチャールームの工事が終わったとの連絡あり。4時頃見に行く。これまでより各段位明るくなっている。ちょっと問題ありだが、まあいいことにした。

### 【12月19日（月）】

暖かくて無風、オランウータンのオス・フトシが寝部屋から出てきて、久しぶりに展示場に登場。しばらく私と二人で仲良くにらめっこ。そのうち飽きて向こうに行ってしまった。2頭のゴリラは、木の葉をもらってムシャムシャと満足そうに食べていた。暖かくて明るいとすべてがのんびりして見える。午後からは売店と食堂の新しい業者を決めるためのプレゼンに参加。質疑応答が長くて、4時くらいまでかかってしまった。今日も鳥インフルエンザの新しいニュースは入ってこない。こんなニュースはない方がいい。

### 【12月17日（土）】

暖かくて日差しも強く、気持ちの良い天気である。フクロテナガザルのメス・ハートは、元気よく吠えていた。今日は、4mくらい高いところにある格子の上でオスのブレイブと並んでいたが、ハートが吠えるのにブレイブが黙っていると、右腕でブレイブを小突いていた。小突かれたブレイブは一言、ワオーと叫んでおしまい。こんなことを二三度やっていた。こんな天気なのに、オランウータンのオスは寝室から出てこない。明日天気になーれ。

### 【12月12日（月）】

やはり鳥インフルエンザのことが気になりますが、不在中に皆さんがシュミレーションをしてくれていて、その報告を聞く。鳥インフルは人の問題というよりは鳥の問題なのですが、人への感染との関係が中心になっていろいろと風評が広まっている。ともあれ、千葉で発生した場合、動物園との距離、野生種、家禽、飼育種などのケースごとに対応策を考えておく。園内ではとりあえず問題はないようである。

アカハナグマの2頭は落ち着いたようで、横木の上で仲良く並んでいた。隣のコツメカワウソが落ち葉を噛んでいる。カワウソが落ち葉を食べるのか。噛んで吐き出す行為を繰り返してやはり食べないかと思っていたら、いきなり飲み込んでしまった。そうですか。

### 【12月11日（日）】

昨日無事ボルネオから戻りました。いくつか交渉をしてきたが概ね良好であった。まあ安心。現場のほうでは、キナバタンガン川流域で、ゾウの大群に遭遇、川べりのエレファントグラスを食べているところにボートで接近して1時間半ほど観察。およそ40頭がいたが、親子兄弟と思しきグループに分かれて十数の塊になって食べていた。今年生まれの小さな子どもも4頭、母親の足元に見え隠れしていた。一帯の草をほとんど食べつくして森の中へ消えていった。目的のオランウータンも夕方にオス2頭がそれぞれベッドを作っているのを観察、あまりこちらをにらみつけていたので、あまり邪魔しないように早々に退散することにした。オランウータンは夕方樹上に枝を寄せ集めてベッドを作り、そこで寝る。翌日早朝そこに行けば観察できるはずであるが、翌日行った時にはすでに引き払ったあとであった。ベッドとか巣とかいっているが、一日で放棄するのでやはりベッドと呼ぶのがふさわしい。

帰りはサンダカン→コタキナバル→クアラルンプール→成田と飛行機の乗り継ぎなのでいささか疲れしました。

## 【12月3日（土）】

朝から千葉市の障害学習センターで講演、2時間ほど話をしたら最後の方で喉が枯れてきた。皆さん最後まで聞いてくれたのはありがたい。明日は年に一度の「動物観研究会」の講演とシンポジウム、一日東京農工大学で過ごす。明後日から来週の土曜日までボルネオ保全トラストの仕事でボルネオ島に調査。サバ州政府の環境次官などとも話をしなければならないが、ゾウのリハビリテーションセンターとかトラストで買った保護地、川に掛けたオランウータン用の架け橋などの状態を調査にゆく。できればオランウータンの状況を観察したいが時間があるだろうか。10日の朝7時に成田に着く予定だが、そのまま放送大学千葉で約5時間の講義、大丈夫だろうか。鳥インフルも茨城県まで拡大してしまっている、こちらも心配である。

## 【12月2日（金）】

園内は紅葉真っ盛り。どこを歩いても美しい。赤と黄色、天気がいいと陽に生えて本当にきれいだと思う。そのもとでカンガルーの親爺さんと子どものオスがボクシング。まだまだ簡単にあしらわれていたが、足蹴りが親爺の懐に届くのは時間の問題だろう。

午後からは、来年度のHPの改造のプロポーザルを受ける。4社が応募して、15分ずつのプレゼンを受けたが、なかなか優劣をつけるのが難しい。とはいえ若い人は私よりはずっと理解が早い。

このところ各地で鳥インフルエンザが発生、いまのところ関東には及んでいないが、鳥類のふれあいや展示などについてモデルケースを設定して検討と対策を進めておくことにする。動物の病気は嫌だが、鳥の場合は飛んでくるので厄介である。人にはまず被害はないことだけはここで明らかにしておく。

## 【11月25日（金）】

昨日と打って変わって快晴。こうなるとしたが凍って滑るのが心配。市役所で市長と話をし、動物園に戻る。モノレールの駅前が、やはり凍っていて、すでに職員が氷の除去を始めていた。

晴れていて寒いと動物によって悲喜こもごも。ビーバーは動きまわり、木の幹を齧っている。レッサーパンダも楽しそうに木登り。オランウータンやテナガザルは、しずかに動かない。

アフリカハゲコウのところで親子三代のハゲワシの仲間だ、と言っているの、おせっかいにもハゲコウはコウノトリの一種であることなど少しコメント。〇〇コウと呼ばれるのは、ハシビロコウも同じで、すべてコウノトリの省略表現。ハゲは形の上での類似性で分

類的共通性はありません。ただし行動上の共通性があります。さて何でしょうか。

#### 【11月24日（木）】

天気予報通り、朝から雪が降っている。すごく寒い。この分ではお客さんは少ないな、と思っていた。動物園にお客さんがほとんど来ないのは、嵐の日で、雪の日はカメラを持った人たちが少なからず来る。今日はまだ雪が積もるほどではないで、雪景色の写真は難しいので、お客さんは来ないだろうと思って寒いのを我慢して園内へ。全く人影が見られない。あれ、ひょっとするとゼロの日かな。事務所に戻って話していると、「今日は休園日ですよ」といわれた。そうでした、木曜日だけど昨日の振り替えで休園でした。

夕方、ボルネオからオランウータンの関係者が来ているので、講演を聞きに青山へ。生息地の分断が進んでいること、私たちが設置した架け橋を結構使ってオランウータンが行き来していること、などが報告されていた。

#### 【11月21日（月）】

大池の紅葉が始まっている。かなり赤いが、この時期、千葉でも紅葉している場所はずくないのではあるまいか。事務所の脇のもみじは全く緑色である。大池の紅葉は今週、見ごろである、ついでにカワセミを見ることができた。出勤途上に園内を見回っていたら、バイソンのメスがこちらを凝視していた。特に変な身なりをしていたわけではないが、何か気になることでもあるのだろうか。草食獣は大体神経質なところがあるので、音や光は気をつけたほうがいいのだが。

寒くなったせいなのか、ハシビロコウのところではメスは巣に座り、オスは電灯の下で暖をとって動かない。これからが本格的に動かなくなるのだろうか。注目である。

#### 【11月18日（金）】

明日からアカハナグマの展示を再開するので、試しに運動場にだしてみる。早速あちこち探索を開始。あちこちの土をほじくりまわし虫のようなものを見つけては食べていた。外目には小さくてわからない。2頭の名前はオス・ヒカリとメス・ミミです。

ゴリラのオス・モンタが興奮している。珍しく人工アリ塚の上に立ちあがって、ガオガオと吠えている。実習の中学生がきていたので、何か気に入らないことがあったみたいだ。モンタは女の人を見ると喜ぶ傾向にあるが、男にはあまりいい反応をしない。

マレーバクのオス・ユメタがサコをしきりに追い回している。サコも運動場を逃げ回って、樹木の周りが轍の様になってしまった。私の見る限り20分ほど続けていた。いつもだとサコはプールの中に逃げ込んでしまうのだが、今日は寒いのかなかなかプールにははいら

ない。その内、さすがにプールに逃げ込んでしまった。ユメタもプールに入るが、すぐに陸上にひきかえして、あきらめ。今日は暖かいけど、それでも水の中は冷たいのだろう。夏だとどこからともなく寄ってくるサシバエもいない。

#### 【11月16日（水）】

比較的暖かい一日で、休園日なのもったいないくらいです。ライオンのトウヤは、いる位置がほぼ決まってきたようで、残念ながら正面のテラスから見えないところにいます。ただし、左の丘状の場所からよく見えます。トウヤはあまり寝ころばないで、上半身を起こして座っていることが多いから、その場所からだときている姿がきれいに見えますね。隣のムフロンはオスグループとメスグループで別れて展示されていますが、オスグループでは、角突きあうことが多くなってきている。

アカハナグマの展示場が空になっていたが、長崎バイオパークから2頭譲り受けて、検疫をしていた。無事検疫終了したので、19日から展示開始。運動場もきれいにしたり、知らないところでどういう行動をするか楽しみです。

ライオントウヤ

#### 【11月13日（日）】

一日、催しの連続日であった。11時から、レッサーパンダのまいのお別れ会。今週中に福岡の大牟田動物園に嫁入りの予定。レッサーパンダの子どもは皆、兄弟姉妹なので千葉だけでは交配できないので、嫁入り先を探していたが、大牟田が手を上げてくれた。午後から千葉のライオンズクラブが主催した写生コンクールの表彰式。園長賞を初めて授与した。これもレッサーパンダの画であったのは何かの縁であろうか。そのあと新しいボランティアさんの面談、6名とも合格である。合間にサル類を見に行く。今日はフクロテナガザルの雄雌ともに大騒ぎ。腕を組むようにして吠えていた。元気で結構です。

#### 【11月12日（土）】

朝、レッサーパンダの風太はしきりに動き回っていた。まだまだ元気ですね。アフリカハゲコウの展示場に横木を付けてくれたが、きれいに止まっていた。肢が良く見える。やはり鳥は木にとまるような肢をしている。エジプトハゲワシの喉垂れが大きくなっているように思える。大きくなる理由がどうもよくわからない。なぜ性成熟をとっくに過ぎた9歳にもなって突如として変化するのか。

#### 【11月8日（火）】

今日はちょっと寒い。まだ紅葉の季節には早いけど、秋を実感しますね。パタスザルの1頭がしきりに尻尾をもんでいる。尻尾も指先と同じだからかじかむのかもしれない。寒いとしもやけになるという話を聞いたことがある。もっとも北海道の話だけど。フクロテナガザルのペアも少し寒そう、2頭でグルーミングしながら寄り添っていた。キリンのヨウタは木の枝に執心、結わえてある木の枝、もう葉っぱは完全になくなっているのに、皮を齧って丸裸。齧るのを見ていると、上唇で枝を抑え、下の歯を使って枝を齧り、舌をうまく使ってすくい取っていた。ざらざらの舌なので、舌ではぎとるのかと思っていた

### 【11月6日（日）】

快晴無風、これまで何年かフェスタの当日は天気が悪くなかったが、昨日今日と天気良好。人気声優さんの絵本の朗読、千葉女子高校の吹奏楽、極めつけは動物コスプレコンテスト、今年は16組参加。審査員をしたが、どれも個性があって投票に困った。アニパルというコスプレのボランティアグループがぬいぐるみを着て大活躍、お客さんにサービスしてくれた。合間にライオンのところに行くのアレンが懸命に草を食べていた。やはり立ち上がって動いているとすごい迫力。

### 【11月4日（金）】

地元のみつわ台中学校の40周年の催しに呼ばれて1時間ほど講演。生徒の皆さんはずっと我慢して静かに聞いていたが、退屈だったかもしれない。もう少し面白い話をすればよかったかと少し反省。

キリンのオス・ヨウタがしきりにメスを追尾している。発情状況をチェックしているようだ。大きく口を開けてフレイメンのしぐさをしている。メスのサツキは嫌がって、逃げてまわっている。クロザルの赤ちゃん2頭が親から離れて遊んでいた。お客さんのすぐ前で遊んでいたのも、みんな大喜び。明日から二日間はズーフェスタ（動物園祭り）のため、職員は準備に余念がない。普段あまり見たことのない道具が引っ張り出されて廊下に並んでいた。夕方、セッティング開始。でももう暗くなっている。大丈夫かな。

### 【11月3日（文化の日）】

快晴、無風で、最高の日より。ライオンズクラブ主催の写生大会で園内は写生する子どもでいっぱい。親子で一緒に何かをする姿はほほえましい。ライオンがやはり人気があって、一番多かった。レッサーパンダ、キリンも多い。300点くらいの作品から園長賞を一枚選ばせてもらった。夕方には科学館の廊下に受賞者の作品が貼られていた。表彰式は13

日で、それまで掲載しておく予定。レッサーパンダのメイメイと子どもたちは活発に動いて元気、木の枝で逆立ちなどしてサービスしている。カンガルーの若者が、大きな親爺にボクシングで挑戦。しばらくジャブとキックを繰り返していたが、親父は前肢でブロックして、若者の前肢は親爺に届かず。リーチが違いすぎる。まだまだまともに相手をしてもらえていない。そのうち、飽きてしまったかやめてしまった。親父は若者の腰のあたりに匂いを嗅いでいた。

#### 【10月27日（木）】

快晴温暖無風、昼休みにレストランのテラスで食事していたらポカポカして暑くなってきたので室内に入った。オオカンガルーのオスのニッキは最大の個体である。カンガルーの展示は昨年改造して、すぐそばで見られるようにしたが、お客さんのすぐそばのネットに前肢をかけて立ち上がっていた。ちょうど私と同じくらいの背丈、170センチほどになる。このニッキを見て、お父さんは怖いなあといい、男の子はすごく喜んでいた。

今日は会議日なので、夕方まで会議の連続、外に出たらもう暗かった。暗闇でカラスの鳴き声がすると少し怖い。

#### 【10月25日（火）】

天気良好、遠足日和である。園内は子どもたちでいっぱい。午後になってポツポツと小雨が降り出した。2頭のライオンは11時過ぎると寝ているが、今日は顔をこちらに向けているので、まあ好評であった。ダチョウのペアは平原の隅で交尾行動を開始。オスは首を左右に大きく振りながら、羽を広げていた。あまり見ない光景なのでちょっとびっくり。

#### 【10月22日（土）】

午前中、地元の源小学校の評議員会に出席、授業参観をする。相変わらず元気がいいのがこの小学校の長所。でも授業はしっかり前を向いて聞いていた。一年生でも後ろを振り返る生徒なし。すばらしい。学校と家庭、先生と保護者が連携しているとうまくいく。5年生の授業でラグビーを題材にしていたのにはびっくりした。実は私はラグビーのプレイヤー、老人ラグビーだけど。話を聞いていたら、ラグビーを理解してもらうのが難しかった。

午後は、千葉市の4つの博物館施設の連携事業で、今年のテーマはサル。題してサルクラブ。今日は動物公園でサルを観察してから、給餌器で餌を与えて行動の観察。誰が一番先に食べるか、どうやって食べるか、餌をほかの個体に分ける行動をするのか、などを観察

した。3種類のサルはそれぞれ行動のパターンが異なっていたのが面白い。それからみんなで給餌器を作ってみる。

#### 【10月20日（木）】

木曜日は会議日、朝から一日会議が五つ。気が付いたら昼ご飯を食べていない。低血糖になるといけないので慌てて食堂へ、一息ついた。毎年11月の第一土曜と日曜日に行っている動物公園フェスタの最終打ち合わせを行う。今年は11月5日と6日、ふれあい動物の里グループが新規参加するとともに、私が理事長をやることになったボルネオ保全トラストジャパンも出展する。ボルネオ保全トラストジャパンは世界で三番目に大きい島、ボルネオ島の環境保全を支援するNPOで、オランウータンの生息環境を守ることやボルネオゾウの保護活動をしている。ちょっと具体的に言えば、アブラヤシのプランテーションが拡大しているために生息域縮小するとともに生息場所が分断されてしまって個体相互の交流ができにくくなってしまっているため、せめて出会いの機会を増やそうとオランウータンが行き来できる回廊を作ろうといったプロジェクトなどオランウータンの環境を少しでも改善しようとしている。私の動物への思いの中ではオランウータンの比重が高いため、少しでも役立てればと理事長を引き受けた。園内でキャンペーンのお手伝いをするつもり。いつもは事務所にこもっていることが多いですが、当日は一日外にでてみよう。時間があればボルネオ保全トラストのテントに寄ってください。晴れるといいな。

#### 【10月19日（水）】

今日は一日、電気設備の点検で停電。ライオン舎で電気が使えないので、電柵に通電しないため、外にだせない。ライオンのトウヤは不満らしくて、扉をたたいて吠えていた。こちらにも歯をむきだしにしてきた。襲われることはないのがわかっているけど少しビビる、さすがに迫力が違う。メキシコに行っていた間にたまっていた雑用をかたづけ。ゾウの展示場に砂を入れて山を作った。明日の朝、アイが出てくると突進して遊ぶだろう。エンリッチメントになるし、見ていても楽しいが、どのくらい山のままで残っているだろうか楽しみである。

#### 【10月18日（火）】

朝から来訪者が連続してくる。我孫子の鳥類博物館から愛好会の人たちが10人ほど、園内を案内。ついでに動物の観察。エボシドリが飛んでいたが、やはり鳥が飛ぶと羽の裏側が良く見える。鳥の羽は裏側がきれいなことが多いので感動的である。アルマジロはひっくり返っておなかを丸出しにしていた。こんなのを見るのは初めてである。午後には多摩



動物公園の職員がくる。展示についてコメントをしてもらったが結構参考になった。ちょっとバカバカしい話だが、マレーバクの子で、多摩から来たサコの名前の由来を聞いて笑ってしまった。多摩での担当者が鎖骨を折ってしまったときに生まれたからサコという名前になった由。そういえば同じ担当者がアキレス腱を切ったときに生まれたのがケンである。今どこにいるのだろうか。夕方には平川動物公園から実習に来ている職員と話をする。

#### 【10月16日（日）】

朝7時に成田到着、メキシコから14日の夜中（正確には15日だが）に出たので、私としては10月15日は存在しないようなもの。11時から園長ライブをやって、午後からは少しお話の会。さすがにぼーっとしてきた。

天気が良くて、お客さんも結構入っていた。やはりお客さんの数が多いとにぎやかでいいね。ところでメキシコでのWAZAの会議は、タフな会議でした。朝から夕方まで会議の連続。しかも英語だから少し気を抜くと何をいっているのかわからなくなる。内容としては、野生動物の保護と教育的な課題が大部分を占めていた。昨年話題になったイルカの問題は一切なし。夜はパーティの連続で、しかも8時から10時半くらいまで続く。ホテルに戻って寝るのは12時くらいになる。会議参加者の4分の3は西欧人風の人たちで、彼らはタフだ。

#### 【10月6日（木）】

8日からWAZAの会議でメキシコへ行く予定。出発前になってパーティで挨拶させるからパワーポイントを用意しろ、とかいろいろと注文が入って急にバタバタしている。並行して、園内の問題も発生、寝不足も手伝って頭が混乱してしまった。久しぶりである。英語のパワーポイントを作るのも久しぶりで、手間取ってしまった。午前中にやっとめどがつく。

フクロテナガザルのオス・ブレイブが久しぶりに大声を出して、メスと協調して吠えていた。3ヶ月ほど静かだったので、心配していたが、気候のせいかな、少し安心した。

給餌器を設置して実験中のフサオマキザル、給餌器から飼育係が餌を出したらびっくりして飛びのいた。しばらくして戻ってきて、餌のドングリを食べた。これから何度か行って器械に慣れて、操作できるようになると面白い。

#### 【9月25日（日）】

やっと雨が途切れましたね。2週間ぶりくらいかしら。雨が途切れるのを待って、新しく

できた着ぐるみの「アレンくん」のお披露目。スクイーズ・ケージとセットで撮影会を行う。かなりの長蛇の列ができた。

その足で、オランウータンのフトシのところに寄る。今日は機嫌が良いのか、20分ほどこちらから目を背けないでじっとしていた。なんだか口をモグモグさせているので、おかしいなと思ったら、口の周りに蚊が付きまわっていた。刺されるのはいようだが、うまく叩き落せない。しばらくモグモグしていた。ほかの観客からは何かしゃべっているように見えるらしい。

午前中に高校の放送委員会の生徒が取材に来た。放送作品を作って千葉県のコングールに出品するらしい。私の履歴からリスタート構想について質問。なかなか勉強していて、私が忘れている記述を質問されて、まだ手を付けていないのを思い出してしまった。改めて再確認してみよう。他人に話すとやってないことがわかるので、たまにこういう取材があってもいいですね。

#### 【9月24日（土）】

一日小雨が降ったり止んだり。コツメカワウソが木の枝を咬み割って遊んでいた。あまり見たことのない行動だが、木の枝がおいてあるところを見ると、普通にやるのか。

ライオンの治療や採血の時に使うスクイーズ・ケージを持ち出して、そこに入れてもらって撮影する催しを開催。スクイーズ・ケージとは檻の壁が動く仕掛けになっていて、その中に動物を入れ、壁を動かして動物を抑えてしまうことで、攻撃できないようにし、その間に治療できる鉄檻である。結構重くて人力では運べない。雨なので、あまりお客さんがいなかったが、参加した人は面白がっていた。ライオンも涼しくなったせいか、起きだして大きな顔を披露してくれた。

#### 【9月21日（水）】

本日は上野動物園で行われる、アジア地域連携シンポジウムに参加する。これは20日から22日まで行われるが、今日はアジアの9つの国の動物園協会の会長が集まって今後のアジアにおける動物の収集などの調整会議のようなもの。さすがに会長さんたちだけあってよくしゃべる。中なか本題に入らずもどかしいところもあったが、何とか最低のまとまりはついた。結果としては、アジア共通の課題として、オランウータンとマレーバクの保護・繁殖計画を進めることから協力関係を深め、ほかにも広げていこうということでまとまる。各国の政府が動物の移動に関して、ガードが堅いので、緩めてもらうよう努力すること、その方策などを議論して終わった。まあはじめとしてはまずまずであろうか。

日本の園長さんたちは、長雨を恨んでいた。

### 【9月12日（月）】

ライオンのアレンは相変わらず朝にはガラスの前でじゃれているようだ。今日もガラス面に泥がついていて証拠が残っている。アフリカハゲコウのオスは、最近トサカの部分と喉袋が赤くなってきて、メスに対して攻撃的なので、離して飼育することになっている。これまでなかったことなので交尾行動とも思えるが、もう10歳くらいなので、少し遅いかなという疑問もある。要観察である。飼育報告や他の園の事例も調べなくてはなるまい。コウノトリの間では、ニホンコウノトリやハシビロコウでは、オスが攻撃的でペアリングが難しい。オスとメスのタイミングや相性が合わないと闘争になり、それもオスからメスへ一方的な攻撃になるから、メスが大怪我しかねない。一方、幸せを運んでくるので有名なシュバシコウは2羽いればすぐ仲良しになる。同じコウノトリでも全く違う。ちなみに、ハシビロコウの分類上の位置は、コウノトリという名前がついてはいるが、最近の研究でペリカン目に属するようになってきている。まだ安定していない。

今日の天気は曇りで涼しいが雨の予報もあり、お客さんは少ない。私の時差ボケはやっと解消したようだ。

### 【9月9日（金）】

フサオマキザルの給餌器を見に行ったが、特に関心を寄せる雰囲気なし。だが親父さんが子どもを背負って歩き回っていた。サル類ではオスが子どもを背負うことはめったにない。フサオマキはするのだ。その間母親は黙って見ていた。ライオンのところでは広場のトウヤが階段の上であおむけになって、後ろ向きに頭を下に下げて寝ていた。完全に逆さま寝。姿を想像してみてください。

カンガルーのオスでは、2頭が地面を掘ってその穴に嵌って寝ている。すると一番大きなオスがやおら穴を掘りだして、3頭が穴に嵌っている。水気を含んでいるので、少し冷たいのだろう。気持ちよさそう。やっと時差ボケが治ってきたかな。

### 【9月8日（木）】

朝出勤途上に正門から坂を上っていくと、突然テナガザルのメス・ハートの声がある。これはいつものことだが、今日はこれに呼応してワオキツネザルの叫び声があった。テナガザルに反応するとは珍しい。そういえば、最近テナガザルのオスの声がない。メスが強く叫ぶとオスが共調することがあったが、このところほとんど共調しなくなった。少し年たったのかな。コツメカワウソの4頭は仲良く昼寝をしていた。いつもは1頭、ロータスだと思われるが、ほかの3頭と小競り合いをしているが、珍しくくっついて寝ていた。前日の天気予報では台風が来ることになっていたが、温帯性低気圧にレベルダウン、しかし風が強く、時々雨も混じる一日で、上空の雲もせわしく動く。カラスはそんなことは気にし

ないで飛び回っていた。

### 【9月4日（月）】

天気予報では雨が降る時間帯があったが、10時過ぎには快晴状態。天気予報が悪いとお客さんはなかなか増えない、と一応文句を言っておこう。朝から動物の子育ての取材を受けていて、人間は本能が壊れかけた動物だ、などといっていたら、ヘビクイワシが巣材の枝を口に咥えて、ウロウロしているのを見てしまった。巣材を咥えたらそのまま素直に巣作りをすればいいような気がするのだが、なにか本能的なものに狂いが起きているのであろう。これは野生でも同じで、それがわからないだけなのだろうか、疑問である。

### 【9月1日（金）】

昨日までヨーロッパに行っておりましたので、日記はなしです。悪しからず。ヨーロッパではイギリスのロンドンとオランダのアムステルダム、ロッテルダムの各動物園を訪問しました。ロンドンとアムステルダムは3度目になるので目新しいところはありませんでしたが、だんだん施設の規模が大きくなるのに比例して、面白さがなくなっているような気がしました。馴れたのも知れないですが、ロッテルダムは落ち着いた動物園で、大いに楽しむことができました。またどこかで詳しくお話する機会もあると思います。

帰ってきたら早速会議と報告で午前中を過ごし、午後からはオマキザルの給餌器を設置するのに付き合いました。檻のネットの外側にボタンを押すと餌が出てくる仕掛けなのですが、餌をとることとボタンを押すという行為の関連を理解するのが難しい。経過を観察しているとなかなかいろいろなことが起きていて久しぶりに面白い実験であった。結局、フサオマキザルは餌の落花生をゲットできず、給餌器も後日やり直し。

### 【8月17日（水）】

昨夜は台風が接近、雨風が強かったので、園内には小枝が散乱している。今日は休園日だからいいが、開園しているなら朝から枝おろしをしなければならぬ。折れた枝が木の間にあって何かの時に落ちてくる恐れがある。担当者は折れた枝を探して落としていた。台風一過というのであろうか、天気良好なれどやや強風である。

このところアカハナグマの動きに注目しているが、今日は奥の方で二頭ならんで遊んでい

た。藪の中において細かくはなにをしているのかわからない。ライオンのアレンは近づくとむっくり起き上がり、しばらくにらめっこをしてくれた。

今年の10月にメキシコで世界動物園会議があるので、その手続きをする。登録やホテルの予約、航空機の手配などそのたびにIDとcodeを設定されていささか混乱してしまった。までもなんとか完了。

### 【8月16日（火）】

天気予報は晴れだけでも午前中は前の様子がない。シマウマのオス・ライムが砂地の上に横たわっている。カラスが2羽、尻尾にいたずらを始めた。突いては引っ張りを繰り返している。ライムを怒らせると怖いぞ。いつだったかメスにかみついたこともある。飼育係も噛みつかれた。あまり頻繁に繰り返すので、ライムは尻尾を振り回して追いやってしまった。それからおもむろに起き上がって、カラスのゲームはおしまい。

アカハナグマのオスがまた溝の中で寝ている。メスはと思ったら、メスはそのうえに被さって寝てしまった。涼しいはずの寝床が暑くなってしまったが、一向に気にしないでそのまま寝ている。

### 【8月13日（土）】

キリンのサツキが左足の付け根を小刻みに震わせている。なんだかよくわからないが、異常な状態ではないようだ。少ししたら止まった。オスのヨウタが近づいて匂いを嗅ごうとしたら、サツキはすぐにその場を離れてしまった。

ビーバーのところでは、5月生まれの子どもがプールの壁をかきむしっては、回転して水に潜る動作を繰り返している。変な癖がつかない方がいいが、と思っていたら、擬岩の隙間に潜っていった。こんなところに隠れ場所があるのか。これまでどこにいるかわからないことがあったが、あんなところに避難場所があるとは知らなかった。

ライオンのトウヤは一番右の雨天用の部屋で寝ている。この展示場は雨の時に使うつもりで作ったが、クーラーが入っているので、暑い日にも使っている。気持ちよさげに寝てい

る。少しは起きて愛嬌でもふるまったらどうだ、などと思うがまあ仕方がない。ライオンが寝るのは、睡眠というよりはいざというときに備えているからと思ってる。いわば充滿した静なのだ。

#### 【8月12日（金）】

ひさしぶりに少し涼しい日になった。このところ気になっていたのが、アカハナグマの行動。土の下にいる虫などを探しているのか、しきりに暑い中、土をほじくり返しているのだが、どうも成果があるとは思えなかった。今日はオスの個体がほじくっていた地面に溝を作ってその溝にすっぽり収まって昼寝していた。動物園で動物が寝ているのはあまり褒められないが、これはなかなかいい眺めであった。新しい土は冷たいから気持ちがいいのだろう。メスの方はオスには関係なく餌探しをしていた。

帰りにライオンのところにいくと、職員がライオンの解説をしていた。この夏から始めた事業で、小学生が何人かワークシートにとりくみ、骨格標本の解説に聞き入っていた。ライオンと馬などの草食獣の頭骨を比べて解説するのだが、なかなか面白かった。

#### 【8月10日（水）】

今日はやはり暑い。水の好きなシタツンガは、ライオンの脇で水たまりに体を浸していた。気持ちよさそうである。動物は一般に昼に暑くても絶える力は強いが、暑くなった体を冷やす必要がある。それは夜で、夜間に暑さが続くと体を冷やす時間がない。千葉は東京などと比べると夜が涼しいから動物も比較的楽だろう。

#### 【8月2日（火）】

カンガルーの放飼場を改良してエミューを柵越しの隣に展示したのが、5月。これまでカンガルーのメスが何度か柵を越えてエミューのテリトリーに侵入して、時には争いになっていた。最近では馴れたのかあまり争わずに同居している。今日も3頭のカンガルーが侵入、エミューは端っこのところでおとなしくしていた。雨模様の日であったが、降雨はなし、上空で一日中雷さんがゴロゴロゴロ、近くには黒い乱雲は見えるが、雨に直撃はされていない。変な天気である。

#### 【7月28日（水）】

本日梅雨明け宣言されたようだが、まだ真夏的感觉無しですね。サル山の脇に栗の木があ

って、青々したいが栗が数十なっている。その中の一つがサル山に落ちたのだろう、一頭のサルがとげを避けてうまく割って食べていた。中身は堅そうだが、おいしそうに食べていた。すぐ隣に同じくらいの大きさのが並んで隣の個体が食べているのを見ている。明らかに欲しそうだが、何もしないでじっとしている。ただじっとしている。しばらくそうしていたら、剥いだ皮の一部がポロッと落ちた。するとすぐさまそれを取って口にした。でも中身がない。これから栗の木から一つ一つ実が落ちていくのだから、少し観察してみるか。アカハナグマのオスがいつになく熱心に土をほじっている。土の中にはいい加減虫などいないとは思うだが、何を求めてほじっているのか。鼻先から10センチほど真っ黒になっていた。

コツメカワウソの4頭、個体がどうも区別できなかつたのだが、今日ふっと区別がついた。個体識別とはそういうものらしい。

#### 【7月27日（火）】

休園日で小雨交じり、涼しくていいのだけれど。朝からウエルカム動物施設づくりの計画を現地で打ち合わせ。まあなんとかまとまりそうである。

ライオンのトウヤの肢が少し跛行しているので、麻酔をかけてチェックしたが、少し表皮がむけていた。意外に微妙なのでびっくりした。ハシビロコウが卵を産んだ。これまで2度ほど産んでいるが久しぶりのことらしい。当然のことながらオスメスは同居していないから、無精卵なのだが、高齢個体だと思っていたので、これまたびっくりである。動物の世界にはいろいろなことがおきるのだ。

#### 【7月24日（日）】

ブラッサグエノンというサルがサル比較舎の端にいる。おでこが茶色の種である。オスの方の口先がなんか変であるがよくわからない。メガネをかけてよく見ると、口先から下を出しているようだ。ずーっと出しっぱなしである。こんなこと気が付かなかった。カモ池にいるタンチョウが騒いでいる。池のなかに入って首を水中に突っ込んだかと思うとあたりをつつきまわしている。陸に上がってもつつきまわして、姉妹には石までつついていた。羽を広げて走り回り、鳴き声を上げている。しばらく観察していたがなかなかおさまらない。今日はあまり暑くはないから、気候のせいではないだろう。ホルモンか何かの影響であらうか。周りのカモたちはいささか迷惑顔で、端のほうに避難していた。

#### 【7月23日（土）】

涼しくて気持ちのよい朝で、肌寒いくらいである。カンガルーものんびり寝そべっている。

オランウータンのナナが、オスのフトシにしきりにちょっかいをだしている。ハンモックの上から網越しにオスの毛を引っ張ってからかっているようだ。そのうちハンモックから出てきて直接からかいだした。そこまではるかかとフトシくんはやや怒り気味、ナナに挑みかかって、どうなることかとみていると、5分ほどして離れて、あとは知らん顔。でもちよろちよろと相手の顔を見ていた。アルダブラゾウガメのオスがぎゃあぎゃああと叫んで、ほかのリクガメの上に乗っかっていること約10分。何とも言えない光景であった。

教員時代の教え子がやってきたので園内を案内していたら、ポケモンGOをいくつか見つけたと言っていた。私にはさっぱりわからなかったが夕方新聞をみたら大変な騒ぎになっている。あれあれ。

### 【7月18日（海の日）】

朝から日が照っていて暑い。とはいえ猛暑というわけでもないのに、園内を歩くことになる。

噴水のところはあい変わらず子どもたちが嬉しそうにはしゃいでいる。

とはいえ暑いので冷房の入っている科学館で少し体を冷やすことにする。アルマジロがのそのそと歩き回っていた。するといきなり立ち上がった。そうかアルマジロは立ち上がることもあるのだ。二階にいてワタボウシタマリンを見ていると、いつもよりこちらを注目している。左に行けば左に動くし、私のほうに顔を向けてついてくる。なにかいつもと違う。エンペラータマリンもこちらを向いて注目。こちらもじっと見ていたら歯をむき出して威嚇してきた。ここで気が付いた。暑いので帽子を被ってきたのだ。職員用の帽子で、飼育係用の帽子なのだ。これに反応しているらしい。通りかかった10歳くらいの男の子に被ってもらったら、やはりそちらに反応していた。帽子に反応したのはほかにクロミミマーモセットで、ほかのマーモセット類は気にしていなかった。

### 【7月17日（日）】

気温は低いけど蒸し暑い一日であった。朝から園長ライブでサル類の案内をする。ちょうどクロザルの親子5頭が全員で固まってグルーミング。1頭の母親が赤ん坊を胸に抱きながらオスの毛づくろい。オスはもう1頭の母親の毛づくろい。その子どもは昨年生まれなのに母親の胸につかまっておとなしくしていた。フサオマキザルのオスは、私たちが20人くらいの集団でいったからであろうか、つかまっている枝を激しくゆすって威嚇していた。フサオマキザルのオスは家族思いだから、何らかの脅威を感じていたのだろ、しばらくやっていた。10人くらいの子もたちが私の話を聞いてくれていたがそのうち飽きてきてしまっていて離脱。午後は来年度の予算要求の打ち合わせ。その後ボランティアさんのための動物学の話をして2時間ほど。喉が枯れてきた。少しスタミナが落ちてきたようだ。蒸し暑さの



せいか園内で一番人が集まっているのは、噴水のところであった。

### 【7月16日（土）】

昨日大雨、今日は曇りでかなり涼しい。ふれあいの里でプールなどがオープン、初めての試みであるが、小さな子供たちが楽しんでいた。今年は湯水で給水制限がかかっているが、園内の井戸から供給しているので、制限はない。中央広場の噴水も相変わらず盛況である。

昨年からボランティアさんが中心になって実施している園内バードウォッチングに参加してみた。この時期、あまりたくさん鳥はいない。でもインストラクターは、小さなさえずりの音も聞き分けて教えてくれた。残念ながら私は耳が悪い。といっても軟調なのではなく、あまり音がきき分けられないのだ、つまり音痴。

### 【7月14日（木）】

今日は朝から暑い一日。イケメン・ゴリラのモンタは、この暑さの中で岩の上で日差しを浴びて正面を向いて座っている。プールの中のアシカは逆にスイスイであるが、新参のチョコがマリンにちょっかいをだしている。大きさもマリンのほうがずっと大きいのに強気である。マリンは歯が弱いので、対抗できないのがわかってしまったのか。現在、アシカはオスを探しているが、オスがきたら彼らの関係はどう変化するのだろうか、楽しみである。ハシビロコウのところでは、メスのしずかがオスに向かってクラッタリングをしている。と思ったらこちらに向かって進んできて、挨拶を始めた。ハシビロコウは、親愛の行動を示すとき、頭をゆっくりと上げ下げする行動をする。オスを無視して人に挨拶を始めた。何がきっかけなのか、何人か一緒にいたので誰かに反応したらしい。

### 【7月9日（土）】

朝から雨が降ったり止んだり、気温は低め、お客さんはほとんどいない。こういう日の動物はいろいろやってくれる。動く条件がそろっているのだ。キリンのサツキさんは、高い枝に向かって舌を思いっきり伸ばして、葉にからもうと必死。もう少しで届かない。キリンの周辺の木々の枝葉は、キリンの届く範囲で全て齧り取られている。だから食べることができるためには条件の変化が必要。雨で枝が下がる、風で動くなどである。雨で少し枝が下がってきたと思ったのだろうか、しばらく舌を伸ばして頑張っていたが、結局だめ。

風太は元気である。小降りになった雨が降る中、笹の葉を食べていた。

ライオンのアレンは、様になっている。顔をこちらの正面に向け、ポーズをとりおもむろに歩き出した。しばらく放飼場を闊歩した後、座り込む。するとムクドリが芝生の虫を食べに来た。その距離、約8m、態勢を下げてアタックポーズ。5～6秒構えてダッシュし

たが、ムクドリは飛び去っていった。そんなにうまくはいかないね

#### 【7月8日（金）】

ゾウのアイちゃんがしきりに耳をパタパタさせている。暑いと耳をパタパタさせて、耳の後ろにある血管のところに空気を送って冷やす。空冷しているのだ。そう言えば私も首のあたりが熱くなってきた。熱中症になるといけないので冷房のあるところで一休み。ふと思いついたが、哺乳類の首が細くなっているのは、固定された胴体から比較的自由に動かせるようにしてあるからだが、その分血管が集まって熱くなる。そこで、私は首を冷やすと気分がもとに戻る。なるほどこれは道理ですね。

#### 【7月7日（木）】

日差しが本格的に夏になった。ふれあいの里では、16日から「水あそびジャングルスライダー」という名のプール滑りを準備しているが、もう少し先になる。動物たちもなんだかげんざりしているようだ。

と、アメリカバイソンのところへいくと2頭が、土埃をたてている。両者は乾いた土のところで寝そべって、尻尾で土を巻き上げている。あたりは土埃がもうもうである。大型動物は暑いときに土を背中などにかけて体を冷やす行動に出ることがあるが、近くに湿った土はあるし、そこは乾いた土、どう見ても体温を冷やす行動ではない。しばらく見ていたが繰り返し尻尾で大量に土を巻き上げている。なかなかうまいものだ。半ば感心していた。

#### 【7月6日（水）】

本日は休園日、曇りから午後晴れになって、気温も高くなってきた。このところマスメディアの園内での撮影が多いように思われる。毎週のように、休園日になるとテレビの撮影が行われている。何か理由があるのだろうか。

園内を歩くとユーカリの幹や枝から表皮が剥がれて、あちこちに落ちていて、ユーカリの木が白色に変わる。これまであまり気が付かなかったが、これからまた茶色になるのだろうか。夏草が茂ってきたので、園内の除草も行われて、まあ床屋さんに行ったような感じになっている。キリンのオス・ヨウタがかなり大きくなってきて、メスに近づいている。オスらしくなってきたが、メスのサツキには応じる気配が見えない。

#### 【7月1日（金）】

朝からテナガザルの鳴き声大きい。ちょっと覗きに行ってみると、オスのブレイブが積極的に声を出している。ついでとってはなんだがサル比較舎をぐるりと回る。大学生が実習に来ていて、画板に観察シートを抱えて観察していた。アシカの様子を見ながら帰って来る。二頭は気持ちよく泳いでいる。つかず離れずの位置で一緒にしてから3日目としてはいい状態なのであろう。

午後から日が差してきて少し暑くなってきた。打ち合わせを終えて、夕方近くなると少し涼しくなった。草刈が済んだばかりの広場には、ムクドリが十数羽、草の間をツンツンとついでんでいる。草丈が低くなると小さな虫などがよく見えるようになるのだろうか。するとコジュケイの鋭い鳴き声が、それをハシビロコウがじっと睨んでいる。のどかですねえ。

### 【6月30日（木）】

このところさっぱりしない天気が続き、今日も雨模様の曇り、でも涼しくていいか。今日は会議日だから早々に園内を巡回。するといつもきている常連さんの数人とであう。こういう天気の日には観察日和なのだろうか。暑くもなし寒くもなし。動物たちも特に変化なし、で園内一巡した。アジサイが各所で花盛り。

### 【6月29日（水）】

先日大阪の天王寺動物園からやってきたカリフォルニア・アシカのチョコが検疫明け。動物園では外部から導入される動物は最低2週間検疫をして、病原菌などをもっていないことを確認してから展示される。無事終了したので、今日は先住のマリンと同居作戦。チョコはしばらく一頭で生活していたので興味津々、特に検疫中にこすってできた背中を擦り剥けたところに注目して触ろうとしていた。チョコはマリンが背中のところにやってくると嫌がって吠えていた。アシカの英名はシーライオン、メスとはいえどライオンと呼ばれるくらいであり、大きな声で吠える。まあ何とか仲良くやってくれそうである。後はオスを何とか手に入れなければならない。

午後はリスタート計画にも挙げられているウェルカム動物やビーバーのダムづくり実験設備の計画の検討をする。

### 【6月24日（金）】

午前中、ちょっとした作業をする。

午後からサイン・デザインの打ち合わせとマレーバクの繁殖行動の研究打ち合わせ。連休が明けてからいろいろな企画が動き出して、面白くなってきた。皆さんよく考えてくれて

助かります。議会は今日が本会議で最終日。これが終わると予算要求の時期になる。外ではハシビロコウのクラッタリングが聞こえる。今日はカラスの声は聞こえない。

#### 【6月23日（木）】

本日朝から雨。出勤のためモノレール駅で降りたら、どこかで見たことのある人が座っている。あれあれ、某動物園の元園長。ともあり遠方より来る、といったところか。ともかく園内に案内、事務所にいくまで案内する。まだほとんどの動物は寝部屋の中である。ゾウが運動場に出ていて、擁壁に両足を乗せて背伸びして鼻で木の枝を掴んで食べている。ゾウの鼻の届くところの木はすでに食べられているのだが、雨が降ると枝が重みで下がってくる。すると鼻が届くようになるのだ。ゾウは木の葉が好きなんだ。

午後からは会議が二つ。遊び場づくりのプロジェクトでは、面白い提案があって、動きがでてきた。夕方にはオランウータン関係の各園の関係者、研究者などが来て、話に盛り上がった。

#### 【6月18日（土）】

朝から市立千葉高校へ、スーパーサイエンスハイスクールの開校式へ。これからほぼ半年かけて60人程度の中学生が科学研究と報告をするために講義や観察などを行う。私も講義の一回分を担当することになっている。楽しく研究しましょうというメッセージをだしておいた。

昼過ぎに動物公園に戻る。今日は少し暑いなと思って、事務所に戻る道すがらライオンのところに行くと、いつもは広い放飼場にいるトウヤが雨天展示場にいる。あまり暑いので冷房施設がある展示場に移動させたとのこと。トウヤは展示場にいても寝てばかりいるのに、冷房のせいかやや活発。飼育担当によると雨天展示場にだしてすぐに小さな女の子に向かって牙をむいて向かっていったとのこと。もちろんガラスにアタックしただけなのだが、そんなの初めてですね。噴水では子どもたちが半分裸になって水遊びで大はしゃぎ。私も参加したい。

#### 【6月16日（木）】

本日も午前中は市役所で会議。午後からは、園内で会議や打ち合わせが続く。ほとんどが夏に向けた準備や企画である。そう、夏は近いのだ。合間に園内へ、エミューの展示場にカンガルーのメスが一頭入り込んでいた。闘争するかとみていたが、お互いに無視。ビーバーの子どもたちは、プールに登場して元気に泳ぎ始めている。小さいのにしっかりと泳いでいる。生まれて1ヶ月ちょっとだが、立派なものだ。シマウマの水たまりではカルガ

モが一羽泳いでいる。今年生まれ個体らしい、どうにか育ってくれたようである

### 【6月15日（水）】

朝は市役所で議会に出張、モノレールで動物公園に戻る。車中、動物公園に行くと思われる乗客が多数乗っていた。今日は水曜日だから休園日ではないかなどと一瞬考えてしまった。そうでした、今日は県民の日で臨時開園でした。駅に着く前に駐車場に向かう車がやや渋滞。今日はお客さんが多いぞ。

午後からビーバーのダムづくりに向けた打ち合わせ。今まで園内でダムづくりをしたケースは知らない、世界でも初めて試みなのではないか。まずは実験から始めようというわけであれこれ考える。

園内では草原でカンムリヅルが落ちていたダチョウの羽を嘴でつまもうとして挫折。しばらくいじっていたが結局あきらめたようだ。どうするつもりだったのだろうか。遊んでいるだけか。

クロザルのルリが12日に出産。今日は胸にしっかり抱いて哺乳していた。もう一頭のメス・ルーラと昨年生まれの子レンは興味深々なのか、ちょっかいを出そうとするが、母親はなんとか振り切っていた。

### 【6月13日（月）】

昨日と打って変わって雨と風。昨日は6月には珍しく5900人ほどの入園者があったとのこと。まずまずである。

ビーバーのところに行くと、2頭の赤ちゃんは小さなプール状のコーナーで泳ぎ、母親は太い丸太を運んで、住処に積み上げようとしていた。子どもたちの安全を確保しようとしているらしい。親父は大プールの傍でなにやら齧っている。

レッサーパンダのマイは高い木のでっぺんで一休み、姉妹のみいはどこにいるかときょろきょろ探すと、擁壁の下で草の根を懸命に齧っていた。夜行獣のショウガラゴの展示は最近では最も面白い。張り巡らされた身の枝をピョンピョンと飛びまわっている。どういう法則でとんでいるかと10分ほど見ていたが、よくわからない。今度じっくり観察してみよう。

### 【6月10日（金）】

朝、正門の前でボランティアさんがアジサイを運んでいた。アジサイの苗が寄附されたので、これから植えるとのこと。ついでに大池まで下って眺めていると、突然鳥の鳴き声。はてどこかで聞いた声だ。ギーギーと、最近年のせいかすぐに名前がでてこない。村

上春樹の「ねじまき鳥」のような声だなあ。もっともねじまき鳥は、架空の鳥なのでだれも鳴き声を聞いたことはない。そうだ、カイツブリ、姿は見えないけど。浮巣を探す時間がないので、そのままにして戻った。出勤途上なのだ。あとで探してみよう。

オジロワシのペアが鳴きかわしていた。鳴き声を上げるときに、同時に尾羽を広げる。尾羽は通常は少し見えるだけだが、はっきりと全体が見えた。もし飛べればさぞきれいだろう。

今日は天気が高く、日が高い。カンガルーのところでは、日蔭が少なくなって、お客さんのすぐ手前だけである。すぐ近くの狭いところでじゃれ合っているので、お客さんの注目を集めていた。

### 【6月9日（木）】

久しぶりにじっくりとサル比較舎を見ることができた。フクロテナガザルはペアで元気に声を出していた。ペアで鳴きかわして、一息着くとお互いにグルーミングしていた。フサオマキザルの親父は子どもの面倒見がいい。今日も子どもを懐に包み込んでかわいがっている。ごつい顔してなかなかやさしいのだ。サルの中でもオスが子どもの面倒を見るパターンはあまり多くはない。しかしオスの役割は家族を守ることにあるので、子どもには優しいことが多い。弱いものを守るのはオスの役割なのだ。パタスザルは地上性のサルで走るのが早い。速く走るためには、前肢と後肢の長さの差がない。イヌやネコ型の肢の形になっている。

後肢の踵も普通だとサルは踵がついているが、パタスは踵が地についていない。行動と体型はやはり関係が深いと改めて思った

### 【6月8日（水）】

本日休園日であるが、テレビの撮影隊が大挙来園しているので、園内は結構喧噪である。動物たちもなんかいつもと違う感じを抱いているみたいだ。人の数はいつもより少ないのに何か動きが違うのであろう。おまけに夕方まで停電。あちこちで発電用のモーターが動いている

### 【6月4日（土）】

天気よし、朝から入園者が多い。ライオンのアレンはいつものように朝いちばんで、ガラス面に向かってじゃれているので、子どもたちは大騒ぎである。しばらくやっていたあと疲れたのか、お休み。午前中はボランティアの月例会で情報・意見交換すること1時間。午後からボランティアさんがアジサイの苗を植えるので、見に行く。約200本ほど。こ

れまで植えてきたのを加えると相当の数になる。1～2年後には、大池の入口は、アジサイ園になるかもしれない。

テナガザルのところでは、メスのハートが発情しているのだろうか、オスのブレイブが気にしているように見えた。そのためか今日はあまり大きな声を出して動くことが少ない。

夕方近く、風が出てきて怪しげな天気になってきた。明日は私の休み日である。明日になると古稀を迎えるので、気分をまた改めて仕事にむかうことにしよう。

### 【6月3日（金）】

朝から自動車会社の主催する植樹祭があって、近所の源小学校の6年生が木を植えた。ミニ・スコップを使って穴を開け、苗木を植えるのだが、最近スコップを使うことも少ないのか、地面が硬いのか、結構難儀していた。子どもたちは元気が良くて気持ちがいい。午後からはメディアの取材が3件続いた。それぞれテーマが違うのが面白い。ゾウのはな子さん、ライオン展示とその後、アメリカ・シンシナチ動物園のゴリラとそれぞれ難しい問題ばかりである。よかれ悪しかれ動物園の話題が重なるのは珍しいことである。

### 【6月2日（木）】

昨日まで少し休んでいたが、今日出勤すると、このところ調子のよくなかったゴリラのオス・ケンタが死亡したとのこと。合掌。午前中はバタバタしていて、午後から解剖。麻布大学の獣医学部の先生が執刀してくれた。解剖すると大きな癌がいくつもあった。昨年、肢の様子がおかしかったので、レントゲンを撮ったが、筋肉が厚くて人用のレントゲンでは撮影できなかった。映らないはずである。癌が脊椎にまで転移していた。さぞ痛かっただろうと想像された。動物はかなり痛くても、痛みをこらえて表にださない。外から見てわかるようでは、すぐに襲われてしまうからだろう。見た目では中々わからないから、動物園では、動物の病気診断に苦労することになる。ほかにもいろいろ面倒なことがあって、一日あわただしく過ごした。合間にテレビと新聞の取材予約がはいる。喉がいささか枯れてきた。

なぜだかカラスの鳴き声を聞かない

### 【5月27日（金）】

本来は日動水の総会なのだが、来客があって朝から動物公園に戻る。折あしく今日は雨。雨足も次第に強くなるようである。ただ、雨の日は悪いことばかりではない。レッサーパンダのところでは、ユウとユイの二頭が木のてっぺんに登って気持ちよさそう。このところ暑さが続いていたので雨風も適当なのだろうか。コツメカワウソの4頭は仲良くじゃれ

ていたし、ライオンのところでは、アレンがガラスに向かってアタックしていた。見ている子どもたちは大喜び。少し気温が下がると動きが変わる。まあ、雨の日も捨てたものではない。午後からは、区役所の行政連絡会議に参加。雨は小降りになってきた。

#### 【5月26日（木）】

今日明日と日本動物園水族館協会の総会で、朝から江の島・藤沢へ。200名近い動物園・水族館関係者が大集合。午前中は、昨年度の経過報告と次年度の事業計画の審議。昨年はイルカ問題を巡って緊張感にあふれていたが、今年はさして問題もない。またこの数年、動物園関係の法律制定問題がくすぶっていたが、少し後景に退いた感じ。まだまだ解決しなければならないことが多そう。午後は、秋篠の宮殿下が臨席して、捕鯨問題についての水産庁審議官が講義。水産資源の話ばかりなので、いささか違和感がある。でも苦労していることがよくわかる。それから各種委員会の報告などがあって、無事終了。

開催中に井の頭自然文化園の「はな子」死亡の連絡があり、永井園長は急きょ、園に戻った。私も20年近く前に園長をしていて、はな子の思い出もあったので、複雑な思いである。はな子は年齢的には一つ下である。

#### 【5月25日（水）】

本日は休園日、今年の4月から水曜日だったので、正門の前に5人ほど来園者がいた。あちこちに掲示などを出していたのだが、なかなか情報は完全には伝わらないですね。ライオンのところでアレンとにらめっこをした。今日はお客さんがいないので、アレンも退屈なのかしばらくお互いに見合いをしていた。こちらは退屈しない。少し挑発しようかと思ったが癖になるとまずいのでやめにした。

ヘビクイワシのペアが追いかけてっこをしていた。といってもオスがメスを追い回しているのだが、しばらくやっけて、30分後に通りかかると巣台の上で一羽が座っていた。全くこの2羽の行動は予測不能である。

#### 【5月20日（金）】

今日も遠足は多いが、少し寒いのでお客さんは昨日より少ない。伊豆シャボテン公園から視察が3名、園長も来ている。少しお話しして、3時半頃になってバードホールのところでお相手した。ちょうどナマケモノが木から降りてきて採食中。バナナを皮の上から齧っていた。ついで、小松菜、キュウリと食べたところで一回り、かえって来てみると白菜がなくなっていた。2頭目もダフトの上に登場、久しぶりに2頭見た。ビーバーの子どもが産したので、しばらく展示を停止していたが、再開した。赤ちゃんはうずくまっていたが、



顔は比較的良好に見ることができた。

#### 【5月19日（木）】

遠足のシーズンである。朝からバスが連なって駐車場に入っていく。園内は幼児、保母さん、お母さんたちでいっぱいになっていく。一番の人気はやはりライオンで、今日も朝のうちはガラスを前に遊んでいた。

でもこちらは10時から会議が三つ。連休が終わって、問題が山積、一つ一つ解決していかなければならないが、悩みは多いです。課題を数えたら30ほどあった。

#### 【5月18日（水）】

休園日だがいろいろと作業が集中している。園内のどこかで漏水しているらしくて断水して調査するのやら、枯れ枝落としやら。

体重あてクイズを予定しているので、ライオンのアレンとトウヤの体重を計る。台状の体重計をセットしてその上に載ってもらおう。ところがアレンはなかなか出てこない。やっと出てきたと思ったら、今度はバタバタ動き回って、体重表示が安定しない。落ち着いて数量表示が決まるまで5分くらいかかってしまった。トウヤのほうは、バンバン仕切りをたたきながら、すぐ出てきて、一件落着。結果はイベントの日までお預けにします。カルガモがヒナを6羽連れて、シマウマのプールをのどかに泳いでいた。一日いい天気で見るところは園内全く異状なし。

#### 【5月15日（日）】

千葉市の科学館と県立博物館との間で三館が連携して「科学クラブ」という事業を行っている。今年から、図書館も参加することになった。子どもたちや大人にもオープンにして、研究してもらおうという催しである。今年のテーマは、「サル」。今日は初日である。どんな研究成果が出来上がるか楽しみ。朝、クラブで開会のあいさつをして、そのまま「園長ライブ」という名のガイドをする。パンダ、ライオン、キリン、カンガルー、ハシビロコウと回って約50分。午後はボランティアさんに動物学の話をした。悪乗りして2時間以上やったので、いささかのどが枯れてしまった。

#### 【5月14日（土）】

今日はさして用事がないので、明日の準備をしてから、駐車場の整理のためにスタンバイ。ところが、駐車場は順調に入車していて応援する必要はないみたいだ。つまりあまり混雑

しないということになるので、これはこれで困ったことだ。だいたい5000人くらいの入園者だと園内も落ち着いている。

事務所から園内にでると、マレーバクのところでザブンという音。メスのサコがオスから逃げてプールに飛び込んだようだ。しばらく潜っていた。お客さんはバクが水から顔を出さないので少し心配していたが、30～40秒ほどで水面に顔をだした。

ライオンのところに行くと、アレンが木の皮をかじっている。爪とぎのために大きな木をセットしてあるが、皮をかじって剥いでいた。お客さんは大喜び。小さなプールの底に水栓の蓋を見つけてそこに前肢を、つまり手を伸ばしていたずらしようとしている。ありがたいことにうまくいかないようで、しばらくやっていたが、あきらめた。そろそろ運動場内にも飽きてきたようなので、退屈しのぎの仕掛けを考えなければいけないようだ

#### 【5月12日（木）】

そろそろ幼稚園・保育園の遠足シーズン開始。色とりどりの帽子を被った園児たちが、園内に充満している。小学校はまだあまりきていないようだが、時期が少しずれるのにはなにか理由があるのだろうか。ライオンのところでは、多くの園児が覗きこんでいたが、特に混乱はなく、おとなしく見ていた。

午前中、新聞社の取材。午後は会議である。連休後、最初の会議なので、連休対策の振り返りが中心。今年の対策は、上々であったとの評価。確かに来園者の数が多かった割には、駐車場の渋滞はほとんどなかった。従って苦情もほとんどなかった。対策を練ったたまものである

#### 【5月11日（水）】

休園日で風が強い。ちょうどというわけではないが、樹木の伐採業者さんが来ていて、枝を落としている。開園以来30年、樹木が育って、枝をはり、風が吹くと落枝などのおそれがあり、タイミングとしては最高であった。

昨年夏からゴリラのオス・ケンタがあまり元気なかったが、少し回復している。本日、所有者の上野動物園から動物病院長がきて視察。今後の健康管理などについて話をする。ケンタの元気が少し落ちて以後、同居しているメスのローラは反対に元気になって少し太り気味。知能の高い動物になると同居者との関係はより微妙である

#### 【5月8日（日）】

連休もいよいよ最後の日、張り切って準備をしていたがどうもお客さんの出足が鈍い。どうなっているのかと思っていたら、10時半ころから増えだした。

今日もライオン前でガイドをする。熱心に聞いてくれているのはありがたい。

昨日のビーバー、子どもの数は2頭であった。4年ぶりの出産だが出産経験は積んでいるので子育ては大丈夫だろう。これから予定しているビーバーのダムづくりに貢献してくれることを期待したいものだ。

バクを見ていたら、オスのユメタがメスのサコにオシッコをかけていた。するとサコは口を開けてフレーメン状の姿、メスのフレーメンってあるのか。

トナカイの袋角が大きくなってかたまりつつある。もう少しで袋が破れてくるかな

### 【5月7日（土）】

やや風が強いが、だんだんいい天気になってきた。午後にライオンの前でガイドをする。今日はそれほど混雑していない。飼育係がビーバーのほうに走っていったので、何かあったのか。戻るところで、ビーバーが子どもを産んだという報告。早速行ってみると、寝部屋に藁を引いて収容したとのこと。オスが藁を子どもと母親の上に積み上げていた。藁でドームを作って母子を隠すのである。ビーバーは働き者で、オスもよく働く。邪魔してはいけないので、窓にベールを被せて退散である。

帰り道にミーアキャットのところによったら、オスのカンタが10分くらい連続して鳴いていた。小さい声でネコともイヌとも違うチイチイと聞こえた。でも周囲のメスたちは反応していなかった

### 【平成28年5月5日（こどもの日）】

連休最後に向けて朝からミニ会議、これまでの反省点などを振り返る。その後、ライオン舎の前で動物の解説。全く雲もなく、これ以上望みようのない天気である。少し気温が高いか、そんなことを文句言っただけとはいけないな。ライオン舎の前のお客さんは静かにかつ整然と動物を見ている。「大きい」という声が多かった。なるほど、ライオンは大きいのか。

午後には、駐車場やその周辺を見回る。駐車場は11時ころ満車、だがそれなりに出ていくお客さんも多く、ノロノロではあるが、車の列は動いている。穴空きになったスペースにガードマンや職員が車を誘導しているので、少し手伝う。3日は1万五千人ほどの入園者がいたと報告を受けているが、今日もそのくらいだろうか。園内にはスペースの余裕はあるが、車の収容数に限界があるので仕方がない。公共交通機関の利用を奨めているのだが。

### 【平成28年5月4日（緑の日）】

天気予報では、強い雨風ということなので、開店休業状態になるかなと思ってたら、朝も

10時過ぎには、晴れ間が見えだし、11時過ぎには快晴になった。でもお客さんの出足はいまいち。午前午後各一回、ライオンの前で解説を行う。

改造したカンガルー展示の前で人だかりができています。大きなオスが柵のすぐそばで草を食べていて、まじかで見ると相当大きい。立ち上がると2メートルくらいにはなるので、歓声が上がっていた。

オジロワシは相変わらず大きな鳴き声を出しているが、交尾行動にまでは至らない。一日中鳴いていた。

園内で目立つのはムクドリ。草地や芝の上に来てしきりに何かをついばんでいる。我々には見えない種とか虫を食べているのだろうか。風が強いので木の枝から落ちてくるのを食べているのだろうか。

#### 【平成28年4月30日（土）】

今日は文句なしの天気。昨日よりも混雑が予想されるので、不測の事態に備えて準備と注意に集中する。朝から園内巡回を繰り返す。皆さま、うまく運営してくれていて、かなりスムーズに流れていて、特に大きな停滞なし。

オランウータン・オスのフトシがナナにちょっかいをだしていたが、ナナの手で振り払われ、しばらくうずくまっていた。がっかりしたのだろうか。

午後になってライオン舎の前に長蛇の列、長い時間待っているのもつらいかも、と思って40分ほどゲリラ・ガイドをした。長い間、歩いたり立ったりしていたので、少し腰が痛くなってきた。

#### 【平成28年4月29日（昭和の日）】

天気晴朗なれども風強し。ライオン舎がオープンして初めての祝日なので少し緊張する。心配なのはライオン前の混雑と駐車場への誘導や周辺道路の渋滞。うまく対処できるだろうか。そんなわけで、ライオン展示場と事務所の監視カメラの間を往復。結果としてはそれほどの入園者がなく、ボランティアさんの応援などもあって無事終了。ちょっと複雑な気分である。対処はできたが、入園者は昨年より多いものの予想よりは少なめ。

鳥たちは繁殖期なのだろうか、しきりに啼いている。オジロワシはキィキィと、ガン類も騒いでいる。ヘビクイワシは抱卵しているが、うまくいくかな。

ふれあいの里は、午前中はあまりお客さんがいなかったが、午後になってバーベキューに人が集まりだし、乗馬にもほかの遊具にも参加する子どもたちが増えてきて賑わいだした。あとはもっと多くのお客さんが来るのを待つのみである

#### 【平成28年4月28日（木）】

今日はライオン飼育展示場と動物ふれあいの里のオープンセレモニーがあるが、昨日から雨模様なので、雨天だと会場設営を変える必要になる。そこで朝7時に判断せねばならない。何故か朝4時に起きてしまった。もう一度寝ると何時に起きるかわからないのでそのまましばらく読書。いつもより早く動物園に到着。

雨がやみそうもないので、雨モードで式典を行うことにした。式典はなんとか終了、ライオンも展示場に登場してガラス展示の前でガラスをかきむしる行動を見せたりして大喝采であった。5センチ先で遊ぶ姿はやはり迫力満点である。その後、来賓の方などを案内してふれあいの里に。雨が激しいので、動物で遊ぶのは無理だが、雰囲気は良好である。花がきれいですよ。午後はライオンの前で解説。雨だというのに30人くらいのお客さんが熱心に聞いてくれた。調子に乗って40分くらい話してしまった。ライオンのアレンは子どもたちが来ると嬉しそうで、ガラスをかきむしったり、舌で舐めたり、しきりにパフォーマンスしてくれる。小さい子が好きなようだ。取材も結構あって、明日晴れるといいな。ライオン舎オープン ライオン舎オープン ライオン舎オープン

【平成28年4月25日(月)】

しばらくお休みしていましたが、再開することにしました。一度、止めると始めるのにも気力が必要ですね。

4月、新年度になっていろいろと状況が変わってきています。まず、休園日が水曜日になって本日は開園。28日には、ライオン展示場と動物ふれあいの里がオープン。これらは逐次報告することにします。

お客さんからシタツンガがバタバタしているとの通報。行ってみると、清掃用の塵取りの柄のところに首を突っ込んで足をバタバタ。特に問題はなく、無事に取り外す。

向かいにいるキリンのオスが、やや大人になってきて、メスにかなり興味をもちだした。報告によると口と鼻の穴を大きく開けてメスの出すフェロモンを嗅ぐ、フレーメンという行動をしているとのこと。ついでに言えば、鼻の奥にフェロモンを感じ取るじょ鼻器という器官があって、そこで感知するようになっている。じょ鼻器の「じょ」は難しい漢字で、興味のある方は調べてみてください。ほとんどの哺乳類にはあるが、人では痕跡しか残っていない。

カンガルーの新しい展示を開始しました。改造したのは、土を盛って同じ高さで見られるようにしたのと、「向かって右の展示場ではすぐそばまで接近できるようにしたこと。オス群れ4頭、すぐそばに寄ってくることもあります。左側は少し軽く土盛りをして、見やすくした。メスは11頭かな、袋から顔をだしているのが1頭、本当はもう1頭、袋の中に見えるようだ。